

報道関係者各位

## 寿司ロボットのパイオニア「鈴茂器工」FOOMA JAPAN 2026 に出展 “シンカ（真価・深化・進化）”をテーマに、食の現場全体を支えるソリューションを提案

日時：2026年6月2日(火)～5日(金)10:00～17:00

会場：東京ビッグサイト / 鈴茂器工ブース：東7ホール「E7-18-01」

鈴茂器工株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：谷口徹、以下 鈴茂器工）は、2026年6月2日（火）～5日（金）の4日間、東京ビッグサイトにて開催される世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2026」に出展いたします。

FOOMA JAPAN は、食品製造に関わる 21 分野を網羅し、約 1,000 社が集結、7,000 点を超える最先端の製品・技術・サービスが一堂に会する国際展示会です。食品製造の未来を形作る技術が集積する場として、国内外から高い注目を集めています。

寿司ロボットのパイオニアである鈴茂器工は、米飯加工技術を起点に、食の現場全体を支えるソリューション企業への進化を加速しています。本展示では、大型機、海外向け機種、国内向け小型機まで幅広い製品を展示し、実機デモンストレーションを通じて、米飯加工の最前線をご紹介します。「おいしい」と「温かい」を世界中へ届けるため、食の自動化を推進し続ける鈴茂器工の取り組みを、ぜひこの機会にご取材賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# シンカ

真価

深化

進化

SUZUMOの様々な“シンカ”をお届けします！



■2025年開催の様子



■シートおむすび製造ライン+のり付け機



### <鈴茂器工 展示ブース見どころ>

#### ■人手不足が進む食品現場を支える自動化技術

食品業界では人手不足が深刻化し、生産性向上が大きな課題となっています。鈴茂器工は、寿司・おむすび製造の自動化を通じて、省人化と品質の均一化を実現。実機デモンストレーションにより、現場オペレーションの変化をご覧いただけます。

報道関係者各位

### ■世界に広がる日本食とフードテックの最前線

日本食人気の高まりを背景に、海外市場での需要が拡大。鈴茂器工は90か国以上で導入実績を持ち、多様な業態・ニーズに対応した製品を展開しています。海外仕様機の実演を通じて、グローバル展開の最前線をご紹介します。

### ■工場から店舗まで広がる多様な現場ニーズへの対応

食品製造の現場では、大規模食品工場から店舗までニーズが多様化しています。大型ライン機からコンパクト機まで幅広い製品群を展示し、実際の稼働シーンをご覧ください。

### ■機械メーカーからソリューションプロバイダーへ

鈴茂器工は、米飯加工技術を軸に事業領域を拡張し、2026年4月には炊飯機の販売も開始。“機械単体の提供”から“現場全体の最適化”へと進化する取り組みをご紹介します。

## <FOOMA JAPAN 2026 出展概要>

会 期：2026年6月2日（火）～6月5日（金）の4日間

時 間：10:00～17:00

会 場：東京ビッグサイト / 鈴茂器工ブース：東7ホール「E7-18-01」

## <市場背景と展示コンセプト>

食品製造業界では、人手不足の深刻化や生産性向上の必要性を背景に、フードテックへの注目が高まっています。政府においても成長戦略の重要分野として位置付けられるなど、食品製造の高度化・自動化が加速しています。また、日本食人気の拡大により海外市場での需要も伸長し、食品製造の現場には、効率化と品質の均一化、さらには多様な業態への対応が求められています。

こうした背景のもと、鈴茂器工は、寿司ロボットのパイオニアとして培ってきた米飯加工技術を基盤に、“機械メーカー”から“ソリューションプロバイダー”へと進化しています。

2026年4月には炊飯機の販売も開始し、炊飯から成形まで一貫した提案が可能になりました。FOOMA JAPAN 2026では、製品の「真価」「深化」「進化」＝“シンカ”をテーマに、加工領域を超えた価値提供を体現します。

報道関係者各位

## <展示内容と見どころ>

本展示では、実機の稼働デモンストレーションを通じて、食品製造の現場がどのように変わるのかを具体的にご覧いただけます。人手不足や多様化する業態への対応が求められる中、鈴茂器工は、大規模工場から小規模店舗まで幅広いニーズに応える製品群を展開しています。

- ・他社との協業により実現した大型ライン機
- ・海外市場での需要拡大に対応したグローバルモデル
- ・居酒屋や専門店などでも活躍する国内向け小型機

規模や用途の異なる現場における活用イメージを比較しながらご覧いただけます。小型機から大型ラインまでを同一ブース内で連続的に体験できる点は、食品製造の広がりとともに、食の自動化の現在地を視覚的に示す見どころです。

## <展示ラインナップ一例>

既存機の深化を軸に、周辺工程やライン全体へと価値提供を拡張。現場課題に応えるソリューション提案を行います。



シートおむすび製造ライン+具材補填機



ご飯盛付けロボット



 **SUZUMO**  
WE LOVE RICE  
食の「おいしい」や「温かい」を世界の人々へ

### ■会社概要

会社名：鈴茂器工株式会社

英文商号：Suzumo Machinery Co., Ltd.

所在地：東京都中野区中野 4-10-1 中野セントラルパークイースト 6階

代表者：代表取締役社長 谷口 徹

設立日：1961年1月

資本金：11億54百万円

事業内容：米飯加工機械、充填機械、包装資材及び寿司ロボット及び食品資材等の製造販売など

鈴茂器工企業 HP <https://www.suzumo.co.jp/>

鈴茂器工企業 HP (英語) <https://www.suzumokikou.com/>

鈴茂器工企業 HP (北米向けサイト) <https://suzumoamerica.com/>

報道関係者各位

### ■食の「おいしい」や「温かい」を世界の人々へ

鈴茂器工は1981年、世界初の寿司ロボットを開発し、以来、米飯加工ロボットのリーディングカンパニーとして業界を牽引しています。世界90か国以上の寿司、おむすび、丼ものなど、様々な食のシーンで幅広く利用されています。寿司ロボットとご飯盛付けロボットにおいては、シェアNo.1を獲得(出典:富士経済「2025年版 ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望 サービスロボット編」寿司ロボット・米飯盛り付けロボット 販売数量・金額 2024年実績)。第20回外食アワード2023(主催:外食産業記者会)を受賞するなど、業界でも注目を集めております。

人手不足が深刻化する飲食業界において、鈴茂器工は店舗業務の効率化に大きく貢献し、外食産業の課題解決に積極的に取り組んでいます。2024年に発売されたコンパクトシャリ玉ロボット『S-Cube(エスキューブ)』や、自動配席AIシステム『ARESEA(アレシア)』など、革新的な製品・サービスの提供を通じて、飲食店のトータルソリューションを目指しています。

『食の「おいしい」や「温かい」を世界の人々へ』を掲げ、細分化する食に関するニーズをいち早く捉えて市場にご提案し、常に新しいフードビジネスを開拓する企業として躍進しています。

### ■企業公式 SNS

Instagram [https://www.instagram.com/suzumo\\_official/](https://www.instagram.com/suzumo_official/)

Facebook <https://www.facebook.com/suzumo.official/>

YouTube 公式チャンネル <https://youtube.com/@suzumojapanofficial5218>

YouTube 公式チャンネル(英語) <https://youtube.com/@suzumoglobal3698>

### ●本件に関するお問い合わせについて●

鈴茂器工株式会社 コーポレート本部

〒164-0001 東京都中野区中野 4-10-1 中野セントラルパークイースト 6F

担当部署：広報・IR 推進課 E-Mail：[suzumo-pr@suzumo.co.jp](mailto:suzumo-pr@suzumo.co.jp)